

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 107-0062
 住 所 東京都港区南青山1-15-9
 氏 名 ジャパンエクセレント投資法人
 執行役員 小川 秀彦 印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ジャパンエクセレント投資法人		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町66番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産投資信託の投資法人		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	6,386	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 http://www.excellent-reit.co.jp/contents/sustainability02.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 12,942 t-CO ₂ (調) 12,853	(実) 12,825 t-CO ₂ (調) 12,734	(実) 12,373 t-CO ₂ (調) 12,287	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 12,553 t-CO ₂
削減率		(調) 0.9 % (調) 0.9	(実) 4.4 % (調) 4.4	(実) % (調)	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	各ビルとも、共用部分の適正な温度設定や、空調機の運転時間の見直し等温室効果ガス排出量削減に取り組み、年間削減目標1%には至らずも、0.9%の削減が図られた。
第2年度	各ビルとも、共用部分の適正な温度設定や、空調機の運転時間の見直し等温室効果ガス排出量削減に取り組み、基準年度に比べて4.4%の削減が図られた。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備、○主要設備等の保安全管理 ○空気調和の整備、○空調設備の効率管理 ○空調設備の新設、更新等における措置 ○ボイラー設備の新設、更新等における措置 ○照明設備の新設、更新等における措置
	第1年度	共用部分の適正な温度設定や、空調機の運転時間の見直しを行った。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部分の適正な温度設定や、空調機の運転時間の見直しを行った。 ・一部物件において、空調機器の更新や共用部照明のLEDによる更新を実施した。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">・ 廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策をする。・ テナントへの環境負荷逡減の協力要請を行う。
第1年度	<ul style="list-style-type: none">・ テナントへの環境負荷逡減の協力要請を行った。・ 館内に省エネ依頼のポスターを掲示し、注意喚起を行った。
第2年度	<ul style="list-style-type: none">・ テナントへの環境負荷逡減の協力要請を行った。・ 館内に省エネ依頼のポスターを掲示し、注意喚起を行った。・ 一部テナントとの賃貸借契約にグリーンリース条項を導入し、エネルギー消費量データの共有、改修工事における環境配慮等を通じ、環境パフォーマンスの向上に向けてテナントと協働する枠組みを構築。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1号、第 2号、第 4号該当者等

(実)	11,719	t-CO ₂
(調)	11,785	

イ 第 3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第 1号、第 2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
武蔵小杉タワープレイス	中原区小杉町1丁目403番地	6909	不動産賃貸業・管理業	3,831 t-CO ₂
興和川崎西口ビル	幸区堀川町66番2号	6909	不動産賃貸業・管理業	3,667 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
興和川崎東口ビル	川崎区日進町1番地53	6909	不動産賃貸業・管理業	2,383 t-CO ₂
川崎日進町ビルディング	川崎区日進町7番地1	6909	不動産賃貸業・管理業	1,838 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第 4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--